*R2.6.19愛媛県卓球協会*

**卓球大会等の再開に係る感染防止ガイドライン改訂版（愛媛卓球Restart計画）**

**１．新型コロナウイルス感染症に対する愛媛県の対応方針**

愛媛県は、６月１９日以降を「感染第二波への対処戦略」に基づく「感染縮小期」と位置付け、行動自粛の更なる緩和を段階的に進めるとともに、感染防止対策を講じつつ事業活動を実施して、経済活動の本格的な反転攻勢を目指すとしました。

その中で、全国的な大規模イベント等は引き続き自粛を要請するが、それ以外は３密に注意しつつ主催者判断で実施可能、実施規模が１,０００人以（定員５０％以内）へ緩和されました。

**２．愛媛県における卓球大会等（卓球大会・練習活動）の再開に向けた愛媛卓球Restart計画**

（1）卓球大会等再開への動き

６月１９日から感染第二波への対応が縮小期に位置づけられたことから、愛媛県卓球協会主催の県高校総体の代替大会「高校卓球再開記念大会」の８月開催が決まるなど、卓球大会等の再開へ大きく動き出しました。

（2）６月１９日以降のガイドライン

愛媛県卓球協会では、愛媛県や愛媛県スポーツ協会による活動方針を参考に、**6月19日に卓球大会等の再開にかかる感染防止ガイドライン「愛媛卓球Restart計画」を改訂し、**全国規模を除く１，０００人（定員５０％以下）規模の卓球大会等が開催できるなど、感染防止対策を緩和することとしました。

**４．卓球大会等再開にかかる感染防止対策について（ガイドライン）**

（１）『卓球練習』にかかる感染防止対策

　1）基本的事項

**①参加者は１,０００人以下で、会場の定員の５０％以内の規模とする。**

**②新型コロナウイルスの感染防止に万全の態勢を整えた内容とする。**

2）参加者の対応

①次に該当する場合は参加を見合わせるようにする。

・体調がよくない場合（発熱、臭覚や味覚異常、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合）

・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

・海外や感染拡大地域等から来県･帰県し2週間経過していない方、又はその方と濃厚接触がある場合

②代表者は、参加者の氏名、年齢、連絡先（電話番号）、当日の体温等体調ほかを記録しておく。

③マスクを持参する。（練習中の着用は要しないが、練習以外、特に会話するときは着用する。）

④3密を避けるよう徹底する。お互いが2ｍ以上の距離を確保するようにする。

⑤咳エチケットやこまめな手洗いに心掛ける。

⑥唾液等がついたゴミは密閉して縛るとともに、他のゴミとともに各自が持ち帰る。

３）卓球場の練習環境

①感染防止のためのチェックリストを卓球場に掲示しておく。

②卓球場には手指消毒剤を設置するとともに、参加者はこまめに利用する。

③手洗い所に石鹸(できればポンプ式)及び使い捨てのペーパータオルを用意する。または、参加者はマイタオルを持参する。

④更衣室はできる限り利用しないようにし、利用する場合は交代で利用する。

⑤参加者が触れる場所（ドアノブ、テーブル、椅子等）は、こまめに消毒する。

⑥練習の交代時等に加え、2時間ごとに窓を開けるなど、こまめに換気をする。

⑦卓球台は、十分な間隔を開けて設置する。（2m以上、できれば４ｍ以上を推奨する。）

⑧卓球台及びボールは、練習の合間に専用クリーナー等で効果的に消毒する。

4）練習時での対応について

①当面の間、シングルス練習のみとし、ダブルス練習はしないことを推奨する。

②当面の間、練習中のチェンジコート、チェンジエンドは行わない。

③複数の者が同じボールを使用しない。（複数コートのボールの混在を避ける。）

④卓球台上で手を拭かない、こすらないようにする。

⑤タオルは共用しない。

⑥飲料は自分専用のものを飲み、回し飲みはしない。

⑥シューズの裏で手を拭かないようにする。⑦

（２）『卓球大会』開催にかかる感染防止対策（主催者）

　1）基本的事項

1. **参加者が１，０００人以下で、会場の定員５０％以内の規模とする。（役員・引率者等を含む。）**

**②新型コロナウイルスの感染防止に万全の態勢を整えた大会とする。**

2）大会の内容、事前対応について

①当面の間、競技種目はシングルスのみとすることを推奨する。

②当面の間、大会は無観客とする。

③参加者（選手及び監督・外部指導者等）が次に該当する場合、参加を見合わせるよう求める。

・体調がよくない場合（発熱、臭覚や味覚異常、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合）

・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

・海外や感染拡大地域等から来県･帰県し2週間経過していない方、又はその方と濃厚接触がある場合

④参加者に次の項目を遵守するよう事前に周知する。

・マスクを持参してもらう。（試合中の着用は要しないが、試合以外の受付時や待機中等、特に会話する時は着用する。）

・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行う。

・他の参加者やスタッフ等との距離を確保する。（できるだけ2ｍ以上）3密を避ける。

・大会中に大きな声で会話や応援等をしないようにする。

・感染防止措置の遵守、主催者の指示に従う。

・大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

⑤参加者の氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）、当日の体調等について書面提出を事前に周知する。

⑥参加者の大会前2週間の体調等について書面提出を事前に周知する。

⑦参加者に、事前に組合せ及びタイムテーブルを配布し、順次 会場入りしてもらうようにする。

⑧参加料は、振込みにより納付してもらう。（できれば事後納付とする。）

⑨場合によって、大会日程を分けての開催も検討する。

3）受付時の対応について

①スタッフは常時マスクを着用する。可能なら、フェイスシールドも着用する。

②スタッフは参加者や他のスタッフとの距離を確保する（できるだけ2ｍ以上）。３密を避ける。

③参加者がマスクを持参しているか確認する。

④参加者が距離を置いて並べるよう目印を設置する。

⑤発熱や軽度でも咳、咽頭痛等体調がよくない人は入場しないよう呼びかける。（体温計の準備も）

⑥受付に手指消毒剤を設置し、使用を呼びかける。

⑦参加者から、事前対応の氏名や当日の体調等、大会前2週間の体調等の書面の提出を求める。

⑧受付時での書面の記入や現金の授受等は避ける。配布書類があれば、各自とってもらう。

4）会場入口、手洗い所、更衣室の対応

①感染防止のためのチェックリストを受付場所等に掲示する。

②チェック事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認する。

③受付窓口･本部席等に手指消毒剤を設置するとともに、参加者に利用するよう促す。

④手洗い所に石鹸(できればポンプ式)を用意する。参加者にはマイタオルの持参をお願いする。

（ペーパータオルも用意しておく。）

⑤手洗い所に「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。

⑥更衣室に入室する参加者の数を制限する。

⑦更衣室の換気扇を常に回すとともに、小窓を開ける等換気に配慮する。

⑧参加者、スタッフが触れる場所（ドアノブ、テーブル、椅子等）は、こまめに消毒する。

5）競技会場の対応

①十分な換気を行う。控室等の部屋は2時間おきに換気する。

②卓球台は適当な間隔を開けて設置する。（できれば４mを確保する。）

③卓球台及びボールは、1試合ごとに専用クリーナー等で消毒する。

　（70％アルコールは使用不可であるほか、他の洗剤等についても使用は控える。）

④選手・コーチ用ベンチ、審判席、カウンター等は1試合ごとに、マイクは使用ごとに消毒する。

6）試合進行に関すること

①大会を通して、参加者・スタッフは3密を避ける。

②当面の間、開会式前の練習時間は設けず、試合直前の練習に限る。

③開会式は省略し、棄権者、競技上の注意、その他注意はマイク放送により行う。

④審判は選手から十分距離をとるほか、接触を避ける。

⑤審判及びスタッフは、常時マスクを着用する。可能なら、フェイスシールドも着用する。

⑥選手間や選手と審判の握手はしない、ラケット交換はしないようにする。

（ラケットは離れた位置から、相手選手に見せるようにする。）

⑦当面の間、ゲームごとのチェンジエンドは行わない。

⑧選手は、卓球台上で手を拭いたり、こすったりしないようにする。

⑨シューズの裏を手で拭かない。

⑩選手は、試合中に叫び声をあげたり、大声を出したりしないようにする。

⑪すべての試合に対戦記録用紙を用意し、試合結果は記録用紙の提出による。

⑫選手は、本部席の試合球と対戦記録用紙を取って試合をし、試合後は本部席の返却用専用箱に返すようにする。

⑬選手、スタッフとも、筆記用具は自前のものを使用する。

⑭タオルの共用はしない。

⑮飲料は自分専用のものを飲み、回し飲みはしない。

（３）『卓球大会』開催にかかる感染防止対策（参加者）

①**大会に関して、参加者は自己責任による参加とする**。

②**主催者からの依頼事項、周知事項、提出事項等は必ず遵守する**。

③県卓球協会のホームページ等により、大会等の開催状況を十分確認する。

④次に該当する場合は参加を見合わせる。

・体調がよくない場合（発熱、臭覚や味覚異常、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合）

・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

・海外や感染拡大地域等から来県･帰県し2週間経過していない方、又はその方と濃厚接触がある場合

⑤マスクを持参する。

（選手は試合中の着用は要しないが、試合以外は着用する。監督･コーチ等は常時マスクをする。）

⑥こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒をする。

⑦3密を避けるよう徹底する。お互いが2ｍ以上の距離を確保するようにする。

⑧会場で大きな声で会話、応援等をしないようにする。

⑨**大会の途中で体調が悪くなった場合は、直ちに大会運営者に届ける**。その場合、大会の途中棄権となる可能性がある。

⑩**大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等を報告する**。

⑪体調不良などにより申込み後に不参加となった場合は、参加料は返還できない。

⑫新型コロナウイルス感染症の関係で大会等が中止となった場合は、参加料は返還する。

⑬咳エチケットや頻繁な手洗いを心掛ける。

⑭唾液等がついたゴミは密閉して縛るとともに、他のゴミとともに各自が持ち帰る。

⑮大会前後のミーティングや懇親会においても、3密は避ける。